

鹿高防災だより

令和4年度第2号 水害編
防災教育担当

水害の備えはできていますか

熊本県では繰り返し豪雨による被害が発生しています。豪雨は地震と違い事前に予測が可能であるため、情報を収集し、早めの避難が重要です。

5段階の警戒レベルを把握しましょう

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報	防災気象情報 (警戒レベル相当)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保 ^{※1} (市町村発令)	大雨特別警戒 氾濫発生情報 [暴風特別警戒 ^{※2}]
～警戒レベル4までに必ず避難～				
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示 (市町村発令)	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮警戒・特別警戒
3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ・避難に準備のつかない要配慮者(高齢者・障がい者・乳幼児等)とその支援者は避難 ・高齢者等以外の人も危険を感じたら自主的に避難	高齢者等避難 (市町村発令)	大雨警戒 洪水警戒 氾濫警戒情報 高潮注意報 [暴風警戒 ^{※2}]
2	気象状況 悪化	自分の避難行動を確認	大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 (気象庁発表)	氾濫注意情報 [強風注意報 ^{※2}]
1	今後気象 状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 <警戒級の可能性> (気象庁発表)	

(令和3年3月、内閣府から国会に提出された「災害対策基本法等の一部を改正する法律案」等に基づき、熊本県が作成)

★警戒レベルとは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために、市町村が発令する避難情報等や気象庁等が発表する防災気象情報などの防災情報を、5段階に分けたものです。警戒レベルに応じた行動を、普段から確認しておくことが大事です。

避難のポイント

早めの予防的避難を!

- 夜間や大雨時は、避難そのものが危険になります。大雨が予想される場合は、本格的に雨が降り出す前の、明るい時間帯での予防的避難を心がけましょう!
- 大雨や台風に備えて、5段階の警戒レベル(次ページ)に応じた避難開始のタイミングや避難行動をまとめるマイタイムラインを作成しておきましょう。

避難するときの注意点

- 1 安全で動きやすい服装
※長靴は水が溜まると動きにくくなるので厳禁!
 - 2 足元に注意
※歩行可能な水深は、一般的に大人男性70cm、女性50cmと言われています。流れが速い場合は非常に危険です。※マンホール、側溝などに注意しましょう。
 - 3 隣近所で声をかけ合って避難
 - 4 病人や高齢者は背負って避難
 - 5 子供は大人が手をつないだり、ライフジャケットなどを付ける
- 避難が危険な場合は
- 建物の2階など、できるだけ安全なところに避難しましょう。

マイタイムライン

大雨や台風などの自然災害から自分の身を守るために、あらかじめ避難行動やその準備をまとめておく一人ひとりの防災行動計画。



危険!

台風時など、雨風が強い中での以下の行動は大変危険です。絶対にやめましょう!

- 田畑の様子を見に行く
- 屋根の上って作業する
- 川や海の様子を見に行く

熊本防災情報メールサービスの登録

をしましょう → → →

県内の気象情報や災害発生に関する情報のほか、市町村が発表する避難情報、避難所開設情報などが、直ちにメール配信されるサービスです。地域指定もできます。登録は3分程度で終わります。



引用：熊本防災ハンドブック